

<机差岳朝日に映えて⑪ 令和6年9月4日>



大蛇の村の心意気

教育長 津野庄一郎

この夏の終わり、関川村を盛り上げる恒例の大蛇パレードが行われ、地元関川中の全校生徒 90 名余が参加しました。当日は国際ボランティア学生協会（イビューサ）の学生 100 名も加わり、村民と一緒に大蛇を担ぎ、約 4・8 キロの道のりを 2 時間半かけて練り歩きました。子どもたちの生き生きとした姿、村を元気づける当事者として頑張った生徒達に心から拍手を送ります。また、先生方のサポートに感謝いたします。「人の役に立った！」「人に感謝された！」など、子どもたちの自己有用感を大いに高めてください。

今年は関川村創立 70 周年の節目を記念し、道の駅に設けられたステージでは、関川中・土沢出身でケビンズ山口コンボイさんらが熱演。ジャンプパフォーマンスに集まった方たちを大いにわかせました。ちなみに山口さんのお父さんと私は中学校の同級生。郡市陸上大会リレーの中心選手として活躍。山口コンボイさんの運動神経のよさは親父譲りでしょう。息子の晴れ舞台を遠くで見守る父親の姿に、私も目頭が熱くなりました。加藤村長から関川村の「ふるさと大使」に任命された山口コンボイさん。小中学生にとって、人生の目標に向かって努力する憧れの先輩として、今後の活躍に期待したいと思います。

今回、私は大会副会長を仰せつかり、計画・運営の様子を見守ることができました。役場職員が各課を超え、地域住民を巻き込みながら、この一大イベントを成功させるべく一丸となって取り組む様子は、まさに「じょうさん常山だせいの蛇勢」の如し。細かい課題はあるにせよ、組織のトップから末端までが、村おこしの理念のもとに、のりしろ厚く補完・連動し合いながら取り組むことができたと感じています。折しも第 46 回「サントリー地域文化賞」（表彰盾と副賞 300 万円：全国 5 件を顕彰）受賞の朗報が届き、村民の心意気にまた一つ花を添えました。

【写真】 ゴール地点の広場でとぐろを巻く大蛇を出迎える人たち